

号外はインターネットの福島民報ホームページ (<https://www.minpo.jp/>) でもご覧になれます。

渡辺、東野組(富岡高身)銅

バド混合ダブルス

種目初のメダル



【混合ダブルス3位決定戦】香港ペアを下し銅メダルを獲得した渡辺勇大(左)、東野有紗組。武蔵野の森総合スポーツプラザ

東京五輪第8日の30日、バドミントンの混合ダブルス3位決定戦が東京・武蔵野の森総合スポーツプラザで行われ、渡辺勇大(三巴)、東野有紗(三巴)組(ともに日本ユニシス、富岡高出身)が2-0で鄧俊文、謝影雪組(香港)にストレート勝ちし、銅メダルを獲得した。この種目で日本勢は初の表彰台で、渡辺はバドミントンの日本男子として初のメダルを手にした。

富岡一中、富岡高時代からペアを組む渡辺・東野組は香港ペアを相手に第1ゲームを21-17で先取し、第2ゲームは23-21で制した。試合後、渡辺・東野組は周囲のこれまでの支援に謝意を示しながら「東京五輪の舞台でメダルを取れて誇りに思う」と晴れやかな表情を見せた。

女子シングルスは準々決勝で、前回リオデジャネイロ大会銅メダルの奥原希望(太陽ホールディングス)が何氷嬌(中国)に1-2で逆転負けし、4強入りを逃した。